

令和 7 年度労働・雇用に関する  
新規・拡充事業（案）

(新規) 文系女子活躍促進事業	産業部産業振興課
	電話:457-2115

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
労働費	産業経済	3,163	1,581	0	0	1,582

※大学生等就職支援事業の一部

目的	市内のものづくり企業で活躍する文系女子を紹介する動画を作成し、位置情報を活用して大都市圏の学生に効率よく発信することで、20代女性が市内で就職する選択肢・可能性を広げる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の20歳～24歳の人口移動の推移では、男性は転入超過に対し、女性は転出超過である。(市“やらまいか”人口ビジョン(令和2年改訂版))</li> <li>市が実施した令和6年度若年層アンケート調査報告書によると、「希望する就職先が浜松にあるか」の問いに対し、「希望する就職先が決まっていない」、「希望する就職先が浜松にない」、「どのような就職先があるか分からない」の回答が全体の約6割を占める。</li> </ul>
事業内容	<p>1 市内企業のものづくり企業で活躍する文系女子を紹介する動画の作成</p> <p>(1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「子育てしながら働く人」、「女性管理職」、「入社してから資格取得」、「若手活躍」などのテーマごとに活躍する女性の紹介</li> <li>市内企業にどのような働く場所・仕事内容等があるか紹介</li> <li>市内企業で働くことや本市で暮らすことの魅力をアピール</li> </ul> <p>(2) 動画作成数 1本(3分程度)</p> <p>(3) 協力企業の募集 5社程度</p> <p>2 位置情報活用による学生抽出及び広告配信 本市出身者が多い大学(150か所)の学生を抽出し、位置情報を活用したWEB広告の配信により、動画の閲覧を促進</p> <p>3 動画の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浜松就職・転職ナビ「JOBはま!」内に掲載</li> <li>マッチングアドバイザーの就職相談時に活用</li> <li>女性就労支援のセミナーや就職フェアにおいて動画を放映</li> </ul>
	
	※写真イメージ

(拡充) マッチングアドバイザー派遣等事業

産業部産業振興課

電話:457-2115

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
労働費	産業経済	11,356	0	0	0	11,356

※大学生等就職支援事業の一部

目的	浜松地域の産業を担う人材や労働力を確保するため、浜松商工会議所と連携し、大都市圏等の大学生等や移住・転職希望者の市内企業就職を支援する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年4月、浜松市・浜松商工会議所との共同宣言「人口減少への挑戦! 「しごと」を元気にする都市宣言」を表明し、双方連携して人口減少対策を講じている。</li> <li>・本市の5歳階級別の人口移動の推移では、転出超過数は男女ともに15歳~19歳が最も多く、20歳~24歳では男性は転入超過に対し、女性は転出超過である。(浜松市“やらまいか”人口ビジョン(令和2年改訂版))</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マッチングアドバイザー派遣等業務 7,154千円 大都市圏等や浜松地域の大学キャリア支援課、就職イベント等へマッチングアドバイザーを派遣し、大学生や移住・転職希望者の相談支援を実施</li> <li>2 (新規)女性活躍推進セミナー・個別相談会 1,650千円 子育てとの両立のための支援体制や制度充実など女性が活躍できる職場環境の整備を目的としたセミナーと市内企業対象の個別相談会を実施</li> <li>3 (新規)高校生向けUターン就職促進職場体験会 770千円 高校生を対象に、夏休み期間中に市内企業10社程度で職場体験会を実施し、県外進学後のUターン就職を促進</li> <li>4 ICT企業と市内学生のマッチング会 330千円 ICT技術を持つ学生の市外流出抑制を目的として、ICT企業との市内大学及び専門学校との学生とのマッチングを目指した交流会を実施</li> <li>5 その他事業 1,452千円 本市周辺の大学との情報交換、就職相談会、定時制高校就職相談会の実施など</li> </ol>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ICT企業と市内学生のマッチング会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>情報交換会の様子</p> </div> </div>

(拡充) UIJ ターン就職活動応援事業	産業部産業振興課
	電話:457-2115

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
労働費	産業経済	1,838	0	0	0	1,838

※大学生等就職支援事業の一部

目的	市外に在住する学生や求職者が市内中小企業等への就職活動等のために要した経費の一部を助成することで、本市の将来を担う産業人材の確保及び UIJ ターン就職の促進を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度市 UIJ ターン就職促進にかかる実態調査では、市に望む取組として、「就職活動にかかる費用の補助」が1位であった。</li> <li>大学生の就職活動にかかる平均費用は、交通費 21,312 円、宿泊費 18,544 円となっており、交通費に加え、宿泊費も大きな負担となっている。(リクナビ「どのくらいのお金がかかる?就活のお金事情」)</li> </ul>
事業内容	<p>UIJ ターン就職活動応援事業費補助金の補助対象経費に宿泊費を追加し、さらなる UIJ ターン就職の促進を図る。</p> <p>1 UIJ ターン就職活動応援事業費補助金 1,500 千円</p> <p>(1) 内容 市内中小企業等への企業訪問、インターンシップ、面接、採用試験等の就職活動を行った学生又は求職者に対し、当該就職活動にかかった交通費及び宿泊費の一部を助成</p> <p>(2) 対象者 市外に在住する学生又は求職者で、浜松就職・転職ナビ「JOB はま!」に登録した者</p> <p>(3) 対象経費 鉄道運賃、航空運賃、高速バス運賃、(新規)宿泊費 等 ※企業から支給がある場合は、補助対象経費から控除</p> <p>(4) 補助率 1/2</p> <p>(5) 補助上限 10,000 円/回(宿泊費は 2,500 円が上限、1人4回まで申請可)</p> <p>(6) 申請見込件数 150 件</p> <p>2 その他 338 千円</p>



(新規) 子育て世代活躍企業コンテスト事業	産業部産業振興課
	電話:457-2115

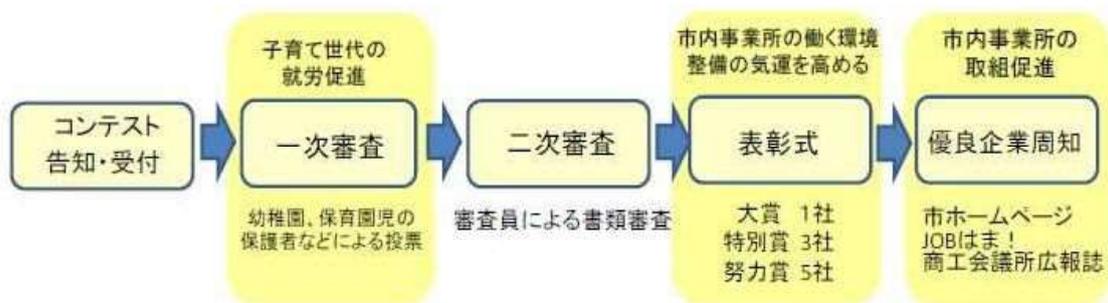
(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
労働費	産業経済	2,143	1,071	0	0	1,072

※働き方改革推進事業の一部

目的	子育て支援の取組や子育て世代の就労を促進するため、コンテストを通じて、模範的・先進的・独創的な取組の横展開を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 国の骨太方針では、多様な働き方を選択でき、多様な人材が活躍できる労働環境整備を推進している。</li> <li>▪ 令和5年度に実施した市少子化に関するアンケート調査では、子育てしやすい環境に必要なこととして、「職場の理解・協力」が82.1%で最も高かった。</li> </ul>
事業内容	<p>子育て世代の活躍に取り組んでいる事業所を募集し、従業員への子育て支援について、模範的・先進的・独創的な取組を実施する事業者を表彰するとともに、情報発信する。</p> <p>1 対象者 仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる市内事業所</p> <p>2 審査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) エントリー広報、コンテスト告知・エントリー受付</li> <li>(2) 一次審査(子育て世代等による一般投票)</li> <li>(3) 二次審査(審査員による審査)</li> <li>(4) 表彰式、優秀企業の周知</li> <li>(5) 企業への情報発信</li> </ul>

<事業イメージ>



勤労福祉センター大規模改修事業	財務部公共建築課
	電話:457-2461

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費 労働費	地方自治	1,477,405	9,824	1,320,600	0	146,981

※関連課 産業部産業振興課（電話:457-2115）

※公共建築物長寿命化推進事業の一部、公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業の一部、勤労者福祉施設整備事業の一部の合計

目的	新たな勤労福祉施設として機能性を高めた勤労福祉センターを整備する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤労青少年ホームが竣工から40年を経過するなど、施設の老朽化が進んでいる。</li> <li>令和3年度からの勤労福祉施設のあり方検討を経て、令和4年5月の環境経済委員会において、勤労青少年ホームを拠点的施設として勤労会館の機能を統合し、新たな勤労福祉施設として位置付けることを報告した。</li> </ul>
事業内容	<p>1 事業費 1,477,405千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化対策工事・改良保全工事 1,432,659千円 内装改修、省エネ工事（館内照明LED化、高効率空調機への更新等） 大会議室、ダンス練習室の新設、講演会、発表会に対応したホール機能の追加等</li> <li>ユニバーサルデザイン工事 44,746千円 エレベーター設置、バリアフリースイレ整備 等</li> </ul> <p>2 スケジュール（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勤労青少年ホーム 令和6年度末まで供用、令和7年度から改修に着手</li> <li>勤労会館 令和7年度末まで供用、令和8年度に解体</li> <li>勤労福祉センター 令和8年4月供用開始</li> </ul>

<施設統合のイメージ>

